

資料 4

その他資料

食の安全安心危機事案の対応について

1 茨城県における高病原性鳥インフルエンザの発生と本県の対応状況

(1) 発生の概要

ア 農場所在地：茨城県かすみがうら市

イ 飼養状況：家きん 約 4,800 羽

ウ 経緯等

期 日	時 間	内 容
R5. 2. 1	17 : 40	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県から本県畜産課に、高病原性鳥インフルエンザの簡易検査の結果、陽性が確認されたとの情報提供 ・茨城県の当該農場から花巻市の 1 農場にヒナが移動しているとの情報提供 (約 300 羽)
2	10 : 00	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県において、遺伝子検査 (P C R 検査) を実施した結果、再度「陽性」を確認 ・花巻市に移動していた当該ヒナが国により疑似患畜と確認 ・当該農場を疫学関連農場とし、発生農場から移動した家きん (約 300 羽) について、殺処分を実施

(2) 本県の防疫対応等

ア 経過

期 日	時 間	防疫措置
R5. 2. 2	10 : 00	<ul style="list-style-type: none"> ・高病原性鳥インフルエンザ対策本部の設置 ・花巻市の疫学関連農場での殺処分等を開始 ・当該農場に対し、飼養家きんの移動制限を指示。また、部外者の立ち入り制限など、まん延防止措置の徹底を要請 ・当該農場から半径 10km の区域の 2 農場 (肉用種鶏、ふ卵場) を調査し、飼養鶏に異常がないことを確認 ・当該農場の周辺地域における制限区域の設定や消毒ポイントの設置は不要
	10 : 40	・当該農場での殺処分を完了 (296 羽)
	11 : 00	・当該農場の消毒を完了
	12 : 45	・当該農場の殺処分した家きん等の焼却を完了

イ 防疫措置への従事者数

・県職員 11 人が従事

(3) 今後の対応

ア 当該農場について、国の防疫指針に基づき、明日から 14 日間 (2 月 16 日 (木) まで) 家きんの移動を制限し、飼養家きんに異常が無いことの確認や、農場内の定期的な消毒を実施。

イ 2 月 17 日 (金)、当該農場で飼養する家きんの検査を行い、異常が無いことが確認された場合は、移動制限を解除 (全ての防疫措置の完了)。

令和4年12月23日

県政記者クラブ 各位

環境生活部県民くらしの安全課

指定外添加物を使用した食品製造業者に対する処分について

【要旨】

県が実施した食品衛生法に基づく立入検査及び収去検査^{※1}の結果、株式会社岩手エッグデリカ（八幡平市）が食品へ使用してはならない指定外添加物^{※2}を使用して食品を製造したことが判明したことから、本日、製造所を管轄する県央保健所は、同法に基づき製造者に対し、本日12月23日（金）から無期限の営業禁止を命じましたので、お知らせします。

1 違反食品等

- | | |
|----------------|---|
| （1）名 称 | : 味付ゆでたまご |
| （2）製造者氏名 | : 株式会社岩手エッグデリカ
代表取締役 大川 幸男 |
| （3）製造所所在地 | : 八幡平市平笠2-6-8 |
| （4）許可の種類 | : そうざい製造業 |
| （5）立入検査及び収去年月日 | : 令和4年12月21日（水） |
| （6）検査結果 | : 塩化ジデシルジメチルアンモニウム
・可食部 不検出
・殻 4.6ppm |
| （7）検査機関 | : 岩手県環境保健研究センター |

2 違反内容

食品衛生法第12条違反（指定外添加物の使用違反）

指定外添加物である塩化ジデシルジメチルアンモニウム^{※3}を使用して味付ゆでたまごを製造したこと。

3 行政処分

県央保健所は本日、指定外添加物を使用した原因、経緯及び再発防止策が不明であり、改善に要する期限を設定できないことから、食品衛生法の規定に基づき、当該営業施設に対し無期限の営業禁止を命じました。

4 その他

県央保健所は、当該営業者に対し、指定外添加物使用の経緯等について報告を求め、今後の再発防止に係る指導を行っています。

また、製造者は12月21日（水）付けで、味付ゆでたまごを含む全ての卵製品の自主回収に着手しています。

塩化ジデシルジメチルアンモニウムは可食部（卵の白身及び黄身）ではなく殻の部分から検出されており、通常の喫食では健康への悪影響が出ることは無いと考えられます。

なお、当該製品を喫食したことによる健康被害は確認されていません。

《注釈及び資料裏面》

【担当 食の安全安心担当 千葉、佐藤 019-629-6876】

※この件に関するお問い合わせにつきましては、本日18時まで担当者が対応いたします。

〔注釈〕

- ※1 収去検査とは
食品衛生法に基づいて食品衛生監視員が食品関係施設に立ち入り、試験検査をするために必要最小量の食品や食品添加物等が無償で持ち帰り検査すること。
- ※2 食品添加物とは
食品の加工、保存の目的で食品に使用する物であり、認められた物以外は使用できない。
- ※3 塩化ジデシルジメチルアンモニウムとは
逆性せっけんの主成分。畜産・家畜診療領域において、畜舎や畜体などの消毒剤として使用される。

〔参考〕 健康への影響

当該物質の一日許容摂取量（一生摂取し続けても健康への悪影響がないとされる一日当たりの摂取量）は、0.1mg/kg 体重/日と設定されています。

仮に、体重 50kg の人が、可食部に塩化ジデシルジメチルアンモニウム 0.5ppm（鶏の卵の基準値の 10 倍）が含まれる味付ゆで卵を毎日 10kg（概ね 167 個）一生涯食べ続けたとしても、健康への悪影響が出ることはないと考えられます。

県政記者クラブ 各位

環境生活部県民くらしの安全課

指定外添加物を使用した食品製造業者に対する処分の解除について

【要旨】

県央保健所は、令和4年12月23日（金）付けで食品衛生法に基づき営業の禁止を命じた八幡平市内の食品製造業者について、危害の除去及び再発防止策が講じられたことが確認されたことから、本日1月31日をもって営業禁止処分を解除しましたので、お知らせします。

また、岩手県の食の安全安心をさらに向上させることにより、全国の皆様に本県産の食品を安心して購入いただけるよう、食の安全安心確保に向けた取組を計画したので、併せてお知らせします。

1 行政処分の概要

- | | |
|------------|---|
| (1) 名 称 | : 味付ゆでたまご |
| (2) 製造者氏名 | : 株式会社岩手エッグデリカ 代表取締役 大川 幸男 |
| (3) 製造所所在地 | : 八幡平市平笠2-6-8 |
| (4) 許可の種類 | : そうざい製造業 |
| (5) 処分の内容 | : 令和4年12月23日（金）から無期限の営業禁止 |
| (6) 処分の理由 | : 食品衛生法第12条違反
(指定外の食品添加物 ^{※1} である塩化ジデシルジメチルアンモニウム ^{※2} を使用して味付ゆでたまごを製造したこと。) |

2 行政処分の解除

県央保健所は、当該事業者に対し再発防止に係る指導を行ってきましたが、1月6日付けで当該営業者の改善報告を受けた後、事業者による自主検査等及び保健所の立入検査等の結果、1月30日に危害の除去及び再発防止策が講じられたことが確認されたことから、1月31日付けで営業禁止処分を解除しました。

3 本県の食の安全安心確保に向けた取組

- (1) 緊急重点監視の実施（短期的取組）
2月1日から28日まで、県内の広域流通食品製造業者を対象に緊急重点監視を行い、適切な食品製造を行っていることの確認及び改善指導を行う。
- (2) 流通食品の収去検査^{※3}の強化（中長期的取組）
令和5年度から、県内で製造されるゆでたまごを対象に、塩化ジデシルジメチルアンモニウムの収去検査を行う。（岩手県管内のゆで卵製造施設4施設が対象）

【注釈】

- ※1 食品添加物とは
食品の加工、保存の目的で食品に使用する物であり、認められた物以外は使用できない。
- ※2 塩化ジデシルジメチルアンモニウムとは
逆性せっけんの主成分。畜産・家畜診療領域において、畜舎や畜体などの消毒剤として使用される。
- ※3 収去検査とは
食品衛生法に基づいて食品衛生監視員が食品関係施設に立ち入り、試験検査をするために必要最小量の食品や食品添加物等は無償で持ち帰り検査すること。

【担当 食の安全安心担当 千葉、佐藤 019-629-6876】

※この件に関するお問い合わせにつきましては、本日18時まで担当者が対応いたします。

